

推薦調書（実装部門）

表彰区分	「市」（指定都市・中核市・施行時特例市等を除く。）	推薦都道府県	長崎県
地方公共団体名	長崎県西海市		
取組名称	S o c i e t y 5 . 0 で活躍するデジタル人材創出事業		
連携自治体、企業、団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・西海市 ・株式会社西海クリエイティブカンパニー 等 		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決した個別課題の具体的内容）	(種類)	②	(左記が①の場合の分野)
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>地方をリードするデジタル人材を西海市から輩出することを目的とし、プログラミングの短期集中講座を令和元年度から3か年にわたって実施しました。</p> <p>プログラミングの基礎学習から始め、1か月間の独自アイデアのアプリ制作期間を通して、自力で調べ創り上げる力を養い、また、自ら事業を創造するためのノウハウの講義を実施しました。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>情報通信技術の発展等、社会全体の環境が急速に変化する中であって、地域が将来にわたって持続的に発展していくためには、デジタル人材の育成が重要課題ですが、本市においても、少子高齢化や若年層の市外への流出等、人口減少局面の影響は顕著であり、デジタル人材の確保は非常に厳しい状況にあります。</p> <p>現状のままでは、日々目まぐるしく変わる状況に対応できず、地域全体が疲弊することが予見されることから、地域の課題に対して、市民自らが向き合うための下地作りに取り組むこととしました。</p> <p>【解決した課題の具体的内容】</p> <p>当取組で、プログラミングの基礎を学んだ受講者からは、地域商社である西海クリエイティブカンパニー（以下「SCC」といいます。）が立ち上げた、地域課題を解決するための「ばりぐっどくんプロジェクト」に参加する者も出てきました。</p> <p>本件プロジェクトでは、コミュニケーションツールとして多くの方に馴染みのある、LINEをプラットフォームとして、行政事務や地域へのサービス向上に期待できるサービスが多く生み出されています。</p> <p>具体的なアウトプットとして、LINEに画像をアップロードするだけで文字起こしができる「文字起こしばりぐっどくん」をはじめ、複数のアプリケーションがリリースされています。</p> <p>また、商品の販売・受注・決済処理をLINE上で一元管理できる「ECばりぐっどくんシリーズ」は、良い商品・サービスがあっても人手が足りず</p>		

	<p>受注機会の損失に直面していた、地域の事業者の悩みを解消するためのアプリケーションとして実装されています。</p>
<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度からの卒業生のべ71名 →2019年度12名、2020年度31名、2021年度28名 ・受講生2名がS C Cに入社（令和3年度） ・西海市内のI T化を進めるばりぐっどくんプロジェクトから、現在14のサービスをリリース。 <p>【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文字起こしばりぐっどくん（ユーザー数2022/6/8現在、219,958人） ○E Cばりぐっどくん（導入件数3件） <p>業種：農業（野菜販売） 畜産業（鶏卵販売） 小売業（衣類クリーニングの集荷・配達）</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>本取組の目的は、単なるアプリケーションの作成講座ではなく、自身で企画開発する力を養うことであり、また、将来的に起業や転職のために必要な事業創出についての考え方も学ぶこととしています。</p> <p>受講生には、約1か月間の製作期間を与え、独自アイデアのアプリを作るという課題が課されます。</p> <p>講義終了後もS l a c kを用いたサポート、また受講生同士で情報交換や学び合える場を提供しており、本市におけるI Tリテラシーの高いコミュニティを創出することも目指しています。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>本市においてデジタル人材の種を蒔くほか、仲間づくりができることで、より具体的な活動に繋がり、地域の課題を地域で解決していく人材とコミュニティの創出を目指します。</p> <p>今後このような講座を開催する際は、課題となるテーマの分野が近い人同士を集めて実施することで、学んだ後の継続的な開発活動に大きく寄与できる可能性があると考えています。</p>

